

県内外7つのブース出展

1月23日(金) 開催へ準備

平内町内外の若者ネットワークをつくるキックオフ・イベント「ひらない魅力発掘晩餐会～銘酒とスイーツのタベ」の概要が固まりました。1月23日(金)夕、県内外の7社・団体が町勤労青少年ホームへブースを出展し、元気を呼び戻す取り組みを紹介し合います。

◆ イベントのポスターは2014年の大晦日にデザインが確定しました。担当したのは、平内町でこれまでに2度、大規模なコスプレ(アニメなどの登場人物に扮して楽しむこと)イベントを成功させた東京都の企画会社「ルミナーージュ」です。

キャッチコピーは、代表を務める小原葉月さんのお母さん(平内町出身)の発案です。



「ひらない魅力発掘晩餐会」のPR用ポスター。町内各地や青い森鉄道の駅に掲示予定です

詳しい情報は随時、Facebookページ「青森のおへそから～私の平内、あなたの平内」に掲載しています。

Facebookページ イベント・ページ



- 参加費：1,000円
- 先着50人限定
- チケット販売・問い合わせ：
 - ▼平内町小湊・辻村酒店
 - (☎017-755-2024、info@sake-tsujimura.com)

好評販売中
チケット

- ▼青森大学事務局総務課
- (☎017-738-2001内線134、makino@aomori-u.ac.jp)
- 事前申し込み・当日チケット引き替えも可。Facebookからもお申し込みいただけます。

ひらない魅力発掘晩餐会
銘酒とスイーツのタベ

①辻村酒店

『日本酒の穴場的な店?』…青森の地酒云々に限らず『自分が飲んで美味しい』と思った日本酒だけをおすすめさせていただいているお店です。最近は特に若手醸造家の醸す日本酒がおすすめです!!

②お菓子工房 プティ ボヌール

地元出身、仙台市で修行を積んできたパティシエが本格的なスイーツを手がけます。隠れた特技は、似顔絵をあしらったデコレーション・ケーキ。ちなみに、お店の名前はフランス語で「小さな幸せ」という意味です!

③レストラン喫茶・ボンネット

国道4号沿いに建つお店。看板メニューの「磯そうすい」は、町特産のホタテをはじめ、豊富な海の幸をふんだんに使っていますが、今回はオーナーがこだわりの「コーヒー」で参加します。新たな地元の名物「平内ブレンド」に挑戦します!

「私たち」の横顔 ブース出展者紹介

④ルミナーージュ(東京都)

使われていない施設などを有効活用して、コスプレイベントを開催。アニメやゲームのキャラクターに扮した若者160名ほどを集客し、地元飲食店等との提携をはかって地元還元を目指しています。コスプレ文化の理解を広め、若者のエンタメを提供していきたいです。

⑤青い森鉄道

青森県の大動脈を運営する第三セクター。通勤・通学でお世話になっている方も多いはず。当日はイメージキャラクターのモーリー君に会えるかもしれません。イベント参加には、ぜひ青い森鉄道をご利用下さい!

⑥平内町

地域の活性化を目指して活動を続けている「未来創造ひらない塾」が活動内容を紹介するとともに、平内町特産のホタテ貝焼きなどを提供します。また、町では青森大学の協力も得て「ハクチョウのまち再生事業」に取り組んでいることから、その活動内容を紹介します!

⑦青森大学

1968年に開学し、地域とともに歩んで間もなく半世紀を迎えます。教職員、学生、そしてOBにも平内町出身・在住者が多数います。学生たちによる平内町の調査研究結果や、最近の地域貢献活動の成果をお伝えします。

青い森鉄道をご利用下さい

上り18:39小湊着・下り18:53小湊着
下り21:38小湊発・上り20:54小湊発

このニュースレターは、平内町と連携協定を結んで地域貢献活動に取り組んでいる青森大学の学生たちが、若者ネットワークづくり事業のイベントをPRするために作成、町に全戸配付をお願いしました。次回は2月に配付予定です。

あまの平内の私



ニューズレターのマスコット「ホタ子」ちゃん

地元のこと好きですか...!?

町内の若い女性に聞いてみた



社会学部3年
成田 紮香



青森大学社会学部3年の成田紮香です。私は平内町のとなりに位置する青森市出身ですが、平内についてよく知らないことに気づきました。そこで、平内町についてもっと知ろうと、平内町在住の私の友人女性（〇歳？）にインタビューしてきました。

- わたし：早速ですが、平内町といえばなんですか？
- 友人：やっぱりホタテだね！養殖日本一ですし、おばあちゃんがよくもらってきて、ホタテは買ったことがないです。たけのこ、わらび、ぜんまいなどもおばあちゃんがもらってきますよ。
- ：次に平内町の著名人について教えてください。
- ：テレビ番組「エンタの神様」によく出演しているお笑い芸人の「ラバーガールの大水洋介さん」がいます。私は彼と同じ小、中、高校を卒業していますよ。
- ：最後に平内についてどう思っていますか？
- ：私は、ずっと平内に住んでいると思います。私も含めて町に住むみんなも平内のことが好きだと思います。

今回のインタビューを通して、平内に住んでいなければわからない、平内の魅力が隠されているのかもしれないと感じました。みなさんは平内のことが好きですか？

平内町の若者づくりネットワーク事業は、オンラインでも活発化しています。町の有志や青森大学がつくる実行委員会は、全世界に十数億人のユーザーが加入している巨大なSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、「フェイスブック」(Facebook)も活用して、意見交換やイベントの打ち合わせを進めています。実行委員会の「知恵袋」ともいべきフェイスブック上のグループには県内外の25人が参加。メディアの記者、青森大学以外の大学生など、顔ぶれはさまざまです。

「フェイスブック」活用した町内外の交流も進展中！

平内町出身で、弘前大学教育学部3年の塩越ももさんは「研究室の先輩から活動を聞き、何か地域活性化活動ができないかと考えています。地元のネットワークづくりに参加したい」と抱負を語っています。1月23日のイベントを成功させることはもちろんですが、地元の将来はネットワークという「エンジン」をいかにつくるかにかかっています。

多彩なネットワークワーク目指して



写真は作成途中のオープニング画面

2014年の青森朝日放送主催の第14回ふるさと自慢わがまちCM大賞の応募作品を、青森大学の学生団体「ハッピー・フィールド」が制作しました。大学に近い青森市の青い森鉄道・筒井駅から平内町へ向かい、平内町内を探索する様子を、ロードムービー風にまとめました。11月16日に開かれた審査では入賞を逃したものの、審査員からは「不思議な味わいがある」と評されました。

あおもり1万人の元気

「元気あつがる体操」

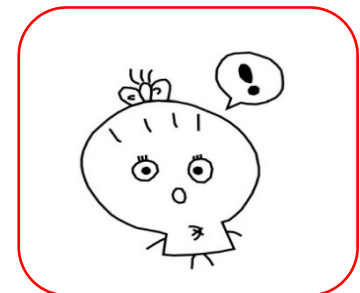


12月20日、幸畑団地での「あつがる体操」指導の様子

青森県の平均寿命は、男女ともに全国最下位。飲酒、喫煙、肥満、塩分多過、運動不足、検診率の低さなど不健康なデータは全国トップレベル。そんな危機を打破するべく、NHK青森放送局が2014年度、青森県「脱・短命県プロジェクト」の一環として開発したのが、この「元気あつがる体操」です。曲は十和田市出身の桜田マコトさんの「だからそのまま」、振り付けは青森大学の新体操部が担当しました！誰でもできる簡単な振り付けです。皆さんもこの機会に挑戦してみませんか？（社会学部3年・鈴木仁＝新体操部、写真左）

あとがき

〇平内町の人に元気になってもらいたいと思い、「元気あつがる体操」の記事を書きました。青森大学新体操部も応援していただけたらうれしいです。（鈴木 仁）
〇ニューズレターの記事を書かせてもらえて、大変うれしく思っています。友人と平内のことを深く話し合うきっかけとなり、とてもいい時間を過ごせました。感想をお聞かせ下さい。（成田紮香）



「CM大賞」作品
青森大学生が制作

